

2024年度自己評価結果公表

1. 本園の教育目標

カトリック精神に基づいて、豊かな情操と、円満な人格の完成を目指す。
幼児一人ひとりの個性を尊重しより良い環境を与えて、心身ともに健全な発達を助長し、良き社会人になる基礎を培う。

2. 2024年度、重点的に取り組んだ目標・計画

さあ、漕ぎ出そう 奏でよう
～多様な「個」が自分らしく輝く環境を目指して～ （子どもも教職員も）
① 「自分の主張の主体性」と「周辺への配慮の主体性」の両方のバランスが取れた「成熟した主体性」を目指す
② 「あなたも大事」「私も大事」が神さまを通して、具体的な体験を通してわかる保育の形（互いに肯定的な理解と評価ができる環境づくり）

3. 評価目標の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	○週案・指導案策定の際は「意図と行為」をセットに、ドキュメンテーションを挙げる際は「事実と解釈」をセットに・・・を合言葉に計画と振り返りを重ねた ○それぞれの行事の中に、活動の主体がどこにあるのか（子ども？先生？共主体？）意識できるような具体的なツールを利用した ○日々の保育・活動の一つ一つの解釈を丁寧にすることで、自然に積み重ねられたものが行事で発揮されるような意識づくり。 ○各自が受けた外部研修について、学んだ内容をレクチャーし合う時間を全員で取ることが難しかった。まとめたものを文書でシェアする形で対応。 ○臨床心理士による各クラスの個別の話し合いに加え、2か月に一回合同カンファレンスを行った ○信徒教職員がいない中、新たな取り組みとして1～2か月に1回教員による宗教講話の時間を設けた。神父様に尋ねたりしながら出力する機会を設けることが出来た。 ○キャリアアップの研修はそれぞれが学びを進め、共有する環境ができて始めている。教育的な内容は実際に試しながら保育に還元できていると思うが、安全や食育等の仕組みのアップデートにまでは至っていない。实际的に幼稚園生活の中で生かされていないのが現状。
保育・教育環境の整備	○近くのサークル活動をされている方や施設、大学とのつながりが出来てきた。赤穂の人脈や工夫により保育内容の充実を図ることが出来た。 園外保育・特別行事（お楽しみ）の充実も実現。 ○カトリック幼稚園同士の繋がり（子ども同士も教職員同士も）も引き続き大事にすることが出来た。

	○携帯電話導入により子どもの写真・動画をすぐにレーザーキッズ配信に利用、または体調・ケガ等を保護者と情報共有、保育内での利用等、様々な形で便利に活用できるようになった。
社会連携 奉仕事業	○小学校との連携連絡会に足を運び、年長児と小学校の橋渡しができた ○ここ2年で支援施設とは密に連絡を取り合う関係作りができた。今年度は新たに「支援学校」とのつながりができた ○年長児が各小学校へ、交流会へ参加 ○地域の大学の看護学生の受け入れを行った。また、保育士養成校のカリキュラムの中の研究や発表等に利用して頂く機会は継続できた ○赤穂高校とのつながりができた。夏休みに保育体験が実現。また、幼教コースの生徒たちと1コマの授業の中で接する機会を頂けた。
保護者との連携 地域との連携 情報発信	○レーザーキッズを使ってクラスの状況を発信、また園長だより「いつもよろこんで」を発行、参観等で子どもの歩みを紹介する等を通して保護者の教育への興味と面白さにつながるよう発信した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果（保護者アンケート）

○子どもの成長について

- ・友達のことなど人のことを考え、その上で自分の気持ちをよく話せるようになった。
- ・上のお兄さんお姉さんと関わる中で、人にやさしくしてもらえる喜びを知ることが出来ていると感じる。
- ・自らやろうとする力・物事への興味がぐんぐん伸びている
- ・行事や参観日を通して園での生活の積み重ねて出来ることが増えていく過程を見ることが出来た。
- ・家で服などをたたもうとしたり、食器を片付けようとしてくれる

※子ども達の日々の生活の姿や振る舞い、表情、子ども同士の関わりなど様々な角度から子どもの成長を確認していることが見て取れる。

○教育活動に関するもの

- ・野菜を育てたり、虫博士の講義・体験・ZOOMでのレクチャー、他にも公園・科学館色んな場所で色んな人に出逢って、楽しい時間を過ごさせてもらった
- ・特別なイベントから、季節の変化、日常のほんのちょっとしたことまで丁寧に「体験」として扱って下さり子どもの世界がどんどん広がっていることがわかる
- ・興味を持っていることに先生がとことん付き合っ下さって好きなことの知識がぐんと伸びた。
- ・子ども達の主体的な思考・意見を取り入れて活動しているところが素晴らしいし、行事ごとに見どころや本番までに大変だったところなどを解説して下さり、子どもの成長について勉強になっている。

・園の雰囲気・先生方の表情や言葉、教育の方向性などを子どもを通して感じる事が出来る
・給食がおいしい・給食の工夫なのか苦手な食材も食べることが出来るように・アレルギー対応をしてくれているのも嬉しい。子ども達がどんな給食を食べているのか一回食べて見たかった。
※今年度は保護者の皆さんに、子どもの見方・面白さをどのようにお伝えようか……。また逆に子どもの成長の中で躓きの様に見えることをどのように「意味のある事である」「成長の証である」という理解に導きようか……。という思いで、行事やお便りの中で意識的に発信した。

それが、保護者の教育への大きな興味・子どもへの自然な期待・子どもの考えの尊重・子どもの歩みの絶対評価につながっているとすれば、とてもうれしい。

給食については食材費・人件費・配送費の高騰などにより上がる可能性はあるが、沢山の食材の種類や調理方法に出逢う機会を大切にしたい

○園の管理・運営について

- ・プリント類が電子配信になったことでなくしにくくなってとても良い
- ・縦割り保育や他学年都の関りが多い点がとてもよかった
- ・このままコストの削減をせず、上乘せがあっても充実した体験ができる園であったほしい

※今年度は①ホームページのリニューアル②預かり保育の申し込みを月単位に変更③お便りをレーザーキッズにて配信、ペーパーレス化・・・を整えた。園と家庭との連絡の円滑化を今後も図っていききたい。

5. 2025年度取り組みたい課題

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	<p>○「遊びと生活」、「園・家庭・地域での経験」を切り分けずに経験を紡ぐことが出来る骨太の環境づくり。(一緒に教育！)</p> <p>そのために必要なスキルアップを図ると共に、個々の得意な分野が一層深められ、教育に生かされる環境づくりを目指す。</p> <p>同時に、保護者の「教育への関心」「多様な価値の獲得」につながる発信の強化。</p> <p>○教育的配慮を要する行動に対応する力を育てる。 (支援計画・支援会議に加え、ティーチャートレーニング研修を数名ずつスタート。)</p> <p>○キャリアアップについては学びの時間が定着した部分は今後も継続。 学びが園運営に反映されていない部分を改善。人材育成+園運営の両面の充実を図りたい</p>
未就園児取り組み	<p>○2026年度の募集より1歳児入園募集</p> <p>○わくわく幼稚園が定着し始めているので継続</p>
環境設定・整備	<p>○Wi-Fiが入りにくい箇所があるので中継器を設置して問題解決を図る</p> <p>○厨房昇降機・調理機材の点検・修理</p> <p>○新しい園庭遊具購入</p> <p>○園庭奥のなだらかな勾配部分に人工芝を設置希望。安全の為</p> <p>○カワイ体操教室の撤退により2025年度よりスポーツクラブスタート。 2025年度中に課外の体操教室が出来るところまで持って行きたい</p> <p>○救命救急講習会を全教職員で受ける</p> <p>○各保育室の整備</p>
保護者との連携 地域との連携 情報発信	<p>○養成校との連携強化。 教育実習生やインターンシップ等の受け入れをしながら連携を深める</p> <p>○地域の豊かなタレントを持った方々との出会いの機会を引き続き作る</p> <p>○カトリック園との交わり(引き続き強化)</p> <p>○法人園以外の教員同士の学び合いの機会</p> <p>○保護者との交わりは普段から。特別な機会を作ることもあると思うが基本は毎日の生活の中で教育について語れる環境づくりを大切に。これからも継続。</p>